

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和7 年 6 月 10 日

相模原市長 殿

提出者

住 所 神奈川県相模原市中央区田名塩田1-12-1

氏 名 イオンフードサプライ株式会社 西関東センター
センター長 角木 幸枝
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 042-862-0072

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	イオンフードサプライ株式会社 西関東センター	自主管理事業登録番号 (新規)
事業場の所在地	神奈川県相模原市中央区田名塩田1-12-1	TEL(連絡先): 042-862-0072
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年間)	
当該事業場に関する事項		
① 事業の種類	E09—食料品製造業 (具体的には) 複合惣菜製造業(食肉)	
② 事業の規模	製造業	製造品出荷額 29,770 百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高 百万円
	医療機関	病床数 床
	その他の業種	売上高 百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)	
③ 従業員数		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	食品製造 調理加工→食品残渣→再生処理業者に委託し 発酵→肥料化 汚泥→再生処理業者に委託し、脱水→たい肥化 廃油 → 買取御者による有価物での引き取り 包装→廃プラスチック → 再生処理業者に委託し、サーマルリサイクル	

※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。

※ 産業廃棄物の種類ごとに記入

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

センター長→ 畜産課 →畜産製造係→ 各課社員（パートタイマー）
↓ 総務課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】
	産業廃棄物の種類数 3 種類 ① 排出量 1,398.0 t * 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
② 計画	(これまでに実施した取組)
	①製造予想数を超過した場合は、廃棄を防止するため、各店舗への配分を実施している。 ②畜産用原料の外装ビニール袋について、ドリップを含まないよう重量を軽くして排出している。
③ 計画	【(令和 7 年度)目標】
	産業廃棄物の種類数 3 種類 ① 排出量 1,398.0 t * 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
④ 計画	(今後実施する予定の取組)
	①製造予想数を超過した場合は、廃棄を防止するため、各店舗への配分を実施する。 ②畜産用原料の外装ビニール袋について、ドリップを含まないよう重量を軽くして排出する。 ③サーマルリサイクルを拡大しリサイクル率の向上を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	社員、パートタイマーにはリサイクル原料の分別化を教育
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	社員、パートタイマーにはリサイクル原料の分別化を教育するとともに製品化の際歩留まり教育していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和 7 年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
② 計画	【(令和 7 年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	531.0 t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)			
脱水機の安定稼働を維持するため、定期点検等を実施し、不具合の未然防止に努める。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和7年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t * 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	1,398.0	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,398.0	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	(これまでに実施した取組) ①リサイクル率向上に向けた業者の調査、選定 ②産業廃棄物収集運搬業および処分業許可証の有効年月日の定期的確認(2回/年) ③産業廃棄物処理施設の現地確認実施		

② 計画	【(令和 7 年度)目標】		* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑩ 全処理委託量	867.0 t	
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	867.0 t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	
(今後実施する予定の取組)			
①リサイクル率向上に向けた業者の調査、選定 ②産業廃棄物収集運搬業および処分業許可証の有効年月日の定期的確認(2回/年) ③産業廃棄物処理施設の現地確認実施			
※ 事務処理欄			

備考

- 1 この様式は、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和7年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

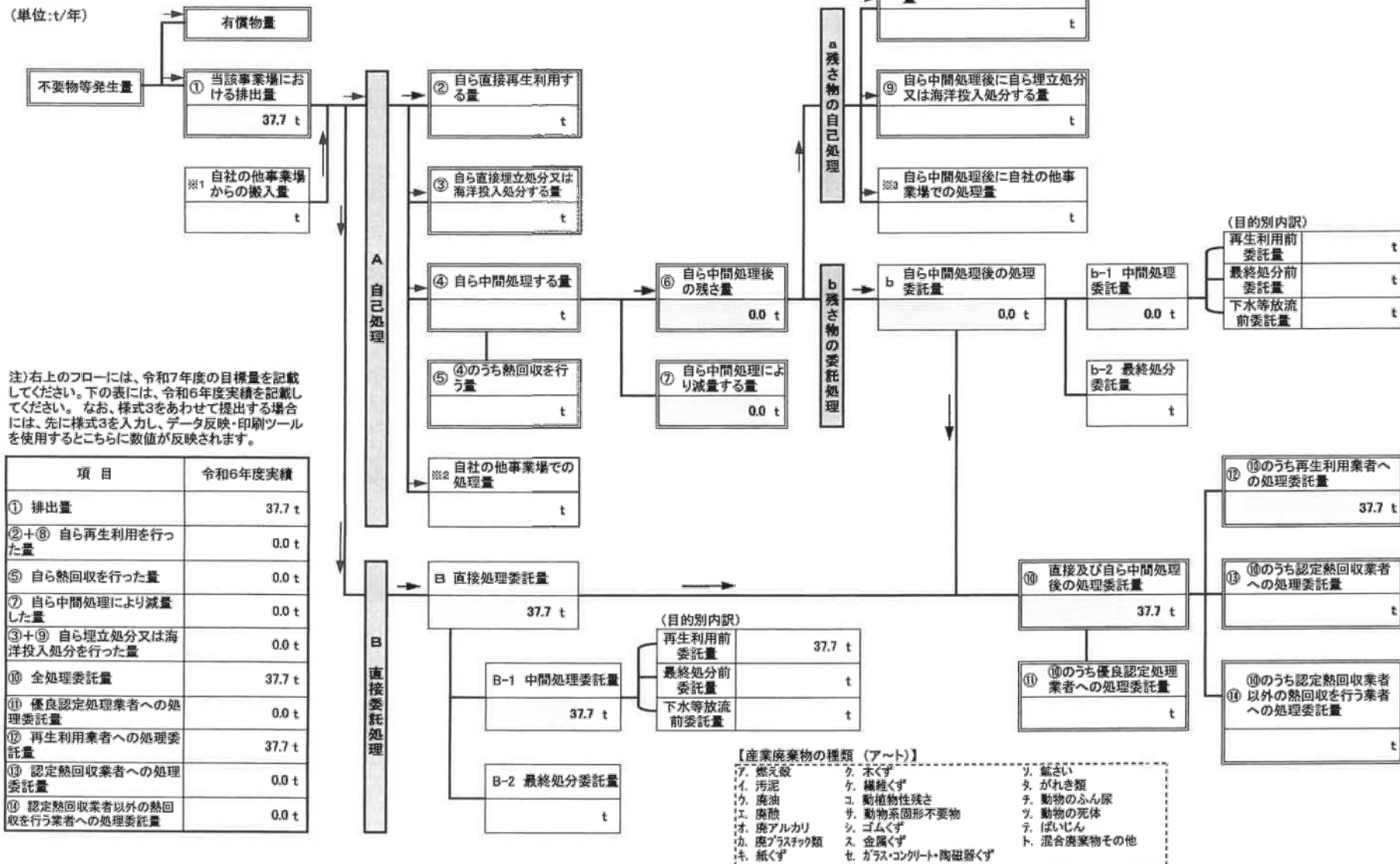
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	イ、汚泥
------------------	------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : イオンフードサプライ株式会社 西関東センター

産業廃棄物処理計画書

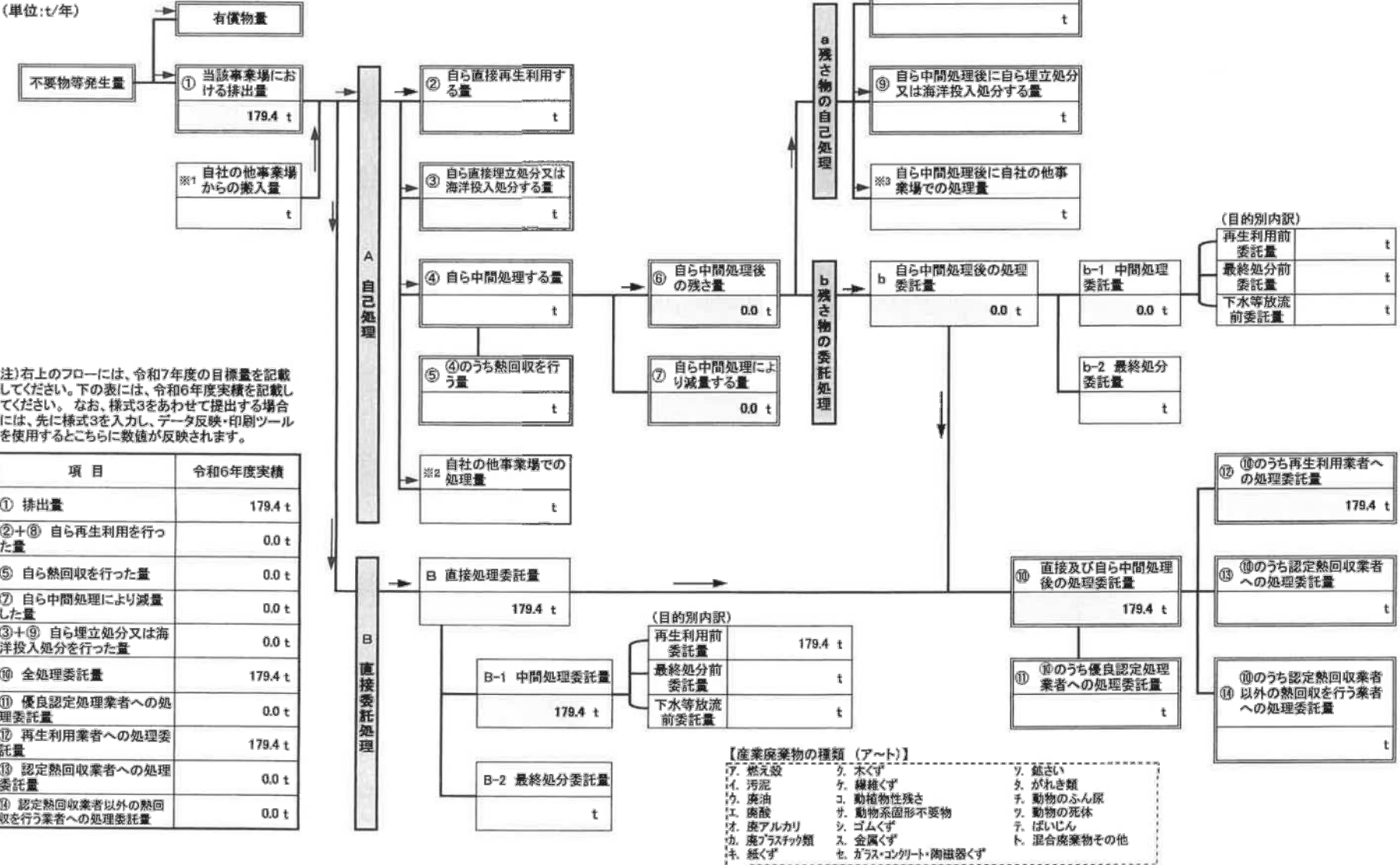
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	カ、廃プラスチック類
------------------	------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : イオンフードサプライ株式会社 西関東センター

産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

別紙処理フロー

事業場名称：イオンフードサプライ株式会社 西関東センター

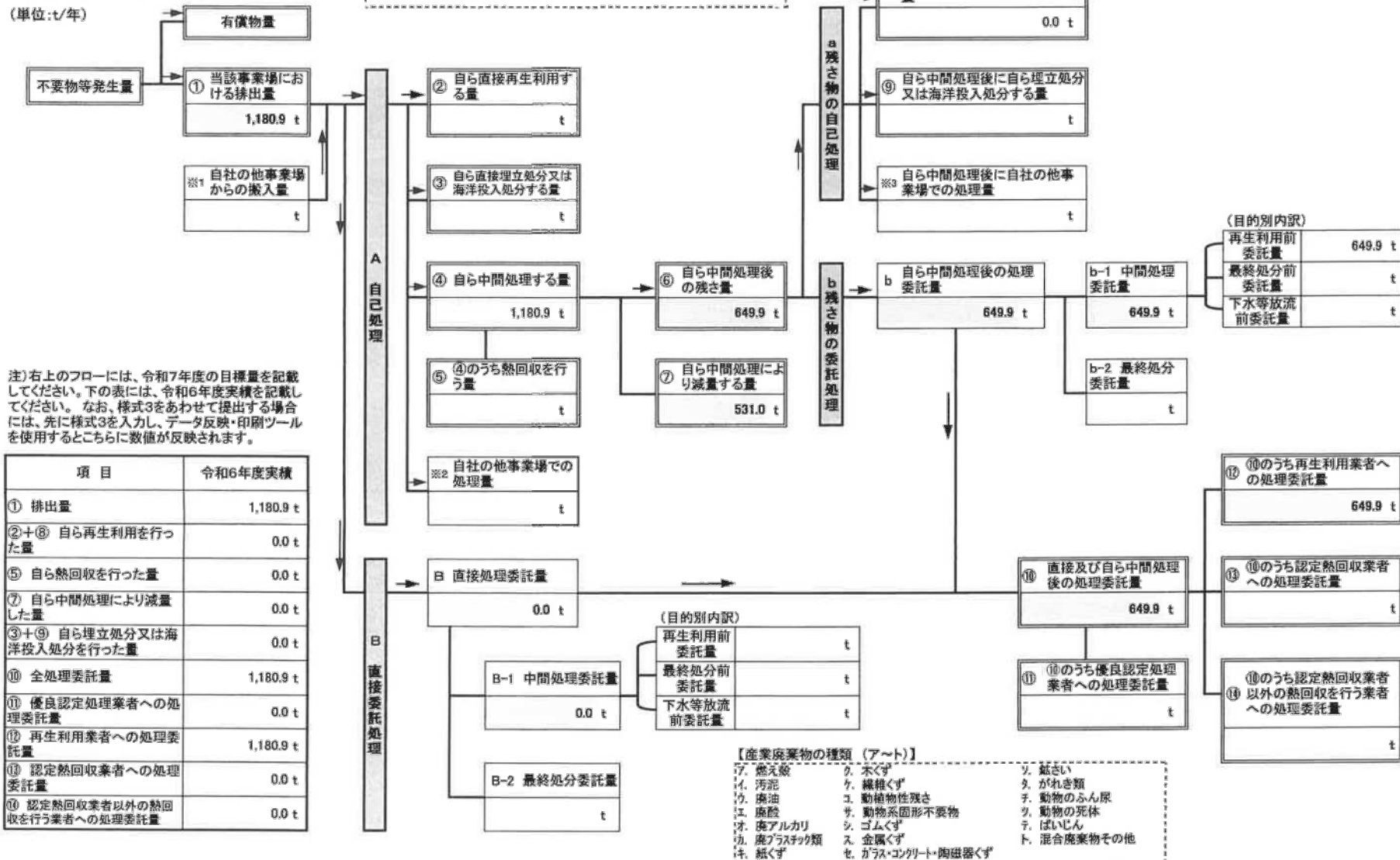
令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	コ. 動植物性残さ
------------------	-----------

※ 本用紙は産業物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業物の処理フローは別シートに記載してください。

「動植物性残さ」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】食品品製造業、医薬品製造業、香料製造業において原料として使用した動物又は植物の固形状の不要物

(単位:t/年)



別紙一括表

2-1	法定	自主
	0	

(単位:トン)

[illegible]